

専門薬剤師 育成で連携

広島国際大と呉3病院



協定書に調印する秋山学長(手前右から2人目)たち

学生受け入れ共同研究

広島国際大(東広島市)と呉市の公的3病院は26日、高度な専門知識を有する薬剤師研究者の育成を目的とする連携協定を結んだ。臨床現場での共同研究などに取り組む。

(瀧川裕樹)

医療現場で薬物療法の高度化や多様化が進み、薬剤師の人材育成が急務となっている。これを受け同大は本年度、大学院の薬学研究科に博士課程を設置した。がん認定薬剤師や感染制御専門薬剤師など専門薬剤師の研修を行うことができる公的3病院は、学生の受け入れて協力する。

呉キャンパス(呉市広古新開)であった調印式には同大の秋山実利学長と、国立病院機構呉医療センターの上池涉院長、中国労災病院の確井亞病院長、呉共済病院の小野哲也

病院長たちが出席した。秋山学長は「協定を機に安全な薬物療法の研究を進め、地域医療に貢献したい」とあいさつ。呉医療センターの上池院長は「病院での薬剤師の存在は非常に重要になっていく。大学との協力は非常に意義がある」と話した。

呉・東広島

地元で愛され
六十余年

胃と
襖
Lカイ

向井製置所

☎0120
69-4741

東広島市八本松町原